

事業番号	09 04 34	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	家畜伝染病予防事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	S26 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	家畜伝染病の侵入及びまん延を防止し畜産物を安定的に供給するとともに、高病原性鳥インフルエンザ等の防疫体制を強化し、住民の人獣共通感染症に対する不安を解消し、安全安心を確保する。					
現状 (予算編成時)	○国際化の進展等により重要伝染病が海外から侵入するリスクが高まっている。 ○高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) や口蹄疫 (FMD) 等家畜伝染病の発生予防・まん延防止を図るため、全農家の衛生管理状況を定期的に把握することが重要である。 ○家畜伝染病の発生及びまん延を防止するため、家畜伝染病予防法により県が実施しなければならない防疫対策が定められている。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可 (法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 家畜伝染病予防法により県が実施することとなっている				
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)					
	監視伝染病の検査を実施し、当該疾病を摘発する。 農場を巡回し、飼養衛生管理基準の遵守を徹底する。 ・結核・ブルセラ・ヨーネ病検査数 申請に対して100%実施 ・鳥インフルエンザモニタリング検査数 対象鶏について100%実施 ・腐蛆病検査数 申請に対して100%実施 ・農場巡回戸数 対象農場について100%実施					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績		H29	
			(当初)	(決算)	(当初)	
	監視伝染病の検査、農場巡回	直接	家畜伝染病予防法に基づく定期検査、家畜の伝染病発生防止対策の指導・農家巡回を実施した	24,944	24,337	27,545
			合計	24,944	24,337	27,545

事業コスト	区分 (単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
	当初予算	26,446	24,944	27,545				目標	成果		達成状況
	補正予算	0			結核・ブルセラ・ヨーネ病検査数	申請に対して100%実施	申請に対して100%実施	申請に対して100%実施	申請に対して100%実施	達成	—
	合計 (A)	26,446	24,944	27,545	鳥インフルエンザモニタリング検査数	対象鶏について100%実施	対象鶏について100%実施	対象鶏について100%実施	対象鶏について100%実施	達成	—
	一般財源	378	378	378	腐蛆病検査数	申請に対して100%実施	申請に対して100%実施	申請に対して100%実施	申請に対して100%実施	達成	—
	県債	0	0		農場巡回戸数	対象農場について100%実施	対象農場について100%実施	対象農場について100%実施	対象農場について100%実施	達成	—
	国庫支出金	15,361	15,324	16,636	乳牛1頭当たり生乳量	—	8,848kg	—	8,753kg	—	8,941kg
	その他	10,707	9,242	10,531	信州プレミアム牛肉の認定頭数	—	3,242頭	—	3,477頭	—	3,700頭
	決算額 (B)	24,886	24,337								
概算人件費	職員数 (人)	23.00	23.0	23.00							
概算事業費 (B(A)+C)	概算人件費 (C)	190,348	182,022	182,022							
		215,234	206,359	209,567							

目標に対する成果の状況	・農場を巡回し、飼養衛生管理基準の遵守状況を確認するとともに、要改善農場に対して指導を行うことにより、飼養衛生管理の改善につなげることができた。 ・家畜伝染病予防法に基づく、監視伝染病の検査及び農場巡回は、対象となる畜種、農場について、すべて実施することができ、伝染病等の発生予防及びまん延防止を図ることができた。(平成28年度、国内で高病原性鳥インフルエンザの発生が9道県12農場であった。)
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 引き続き、監視伝染病の検査を行い、疾病を摘発し、まん延防止に努める。
--------------------	---